

## Vivid Lesson 5 受動態 「S は (by 以下のものによって) V される。」

### Study Point 1 : 受動態のまとめ

作り方 → S + ※be 動詞 + 動詞の過去分詞 (by~).

→※be 動詞→主語の人称と、時制によって変化させる

#### 例文

She is loved by the kids. 「彼女は子供たちに愛されている。」

be 動詞 過去分詞

We were not invited to the party. 「私たちはそのパーティーに招かれなかった。」

be 動詞 過去分詞

### Study Point 2 : 助動詞+受動態

作り方 → S + 助動詞 + ※be + 動詞の過去分詞 (by~).

→※be(原形)のままで、変化させない

#### 例文

His new movie will be released in July. 「彼の新しい映画は7月に公開されるだろう。」

助動詞 be 過去分詞

This essay must be finished by tomorrow. 「この作文は明日までに仕上げなければならない。」

助動詞 be 過去分詞

### 注意すべき受動態:by以外の前置詞を用いる表現

- be covered/filled/pleased with~: ~に覆われている, ~で一杯である, ~に喜ぶ
- be surprised/shocked /disappointed at~: ~に驚く, ショックを受ける, がっかりする
- be known ①to~/②as~/③for~: ①~に(対象)②~として(同格)③~という理由で 知られている
- be killed/injured in~: (事故, 戦争などで)亡くなる, けがをする

### 教科書(p.18) Check1 の和訳

1. 今日、私たちは多くの面でコンピューターに助けられている。
2. NASA は世界の宇宙科学者たちに知られている
3. 彼は科学的な現象に興味を持っている。

#### Check1 重要表現

1. in many ways → 多くの面で, 方法で
2. space scientists → 宇宙科学者
3. phenomena → phenomenon (現象) の複数形

### 教科書(p.18) Check2 の和訳

1. ロボットがより多くのことができるようになれば, 人々は喜ぶでしょう。
2. 新しい医療技術によって患者たちは救われます。
3. 多くの病気が将来, 遺伝子研究によって治療されるようになるだろう。

#### Check2 重要表現

1. be pleased → 喜ぶ
2. patient(s) → 患者    medical → 医療の
3. disease(s) → 病気    genetic → 遺伝子の    research → 研究

### 教科書(p.19) Exercises Step1 のヒント

1. 「使われている」    use を使って
2. 「知られている」    know を使って
3. 「興味がある」    interest を使って
4. 「救うことができる」    save と適切な助動詞を使って
5. 「解決されるかもしれない」    solve と適切な助動詞を使って

Step 1 重要表現

1. everyday tool → 日常の道具
2. invention → 発明
3. advancement(s) → 発達, 進歩
4. food shortage(s) → 食料不足

Step 2 重要表現

3. suffer from ~ → ~に苦しむ
4. further → さらに (far の比較級)  
from now on → これから